

## 収穫祭 The Special Gift

本日（11月22日）収穫祭1日目で午前中 開会式、吹奏楽部演奏会、演劇部の公演が行われ、午後からは模擬店やみんなの広場、展示等が行われました。PTAの皆さんにも今日はおどんの販売で協力していただきました。

朝からあいにくの雨で、時々雨は止みましたが肌寒い一日でした。今日はみんなの広場にはまつばら保育園から大勢の園児の皆さんも参加していただき、魚釣り、しかけ絵本を作ろう、メッセージ缶詰等の催し物を楽しんでくれたようです。

また、乃木地区の高齢者クラブ連合会の皆様もお招きし、校内の様子や収穫祭の展示、催し物等をご覧いただきました。

開会式では実行委員長で農業クラブ会長の岩谷 凌さん（生物生産科3年）が収穫祭テーマとポスター原画の表彰と、開会に当たりあいさつを行いました。テーマやポスターを選んだ理由やこの収穫祭を生徒の皆さんがどのような気持ちで臨んでほしいかなどを堂々と話してくれました。立派です。昨年度から開閉会式は全て実行委員会に任せています。進行も来賓紹介も、企画も全てのことをです。教員が出るのは校長のあいさつくらいです。今年の生徒会・農業クラブ・家庭クラブ各役員とも昨年に増して協力して、協働して非常によくやってくれています。テーマにあるように、明日の本番では『Special Gift』が地域の皆さんにお贈りすることができるかと確信しています。

私の開会式でのあいさつは、校内にある畜魂碑の話をしました。昭和62年3月に畜産科が廃止となりましたが、それまではこの収穫祭で毎年5頭の豚をと殺して、ハムやベーコン、ソーセージ等に加工して販売していました。これが地域の皆さんには好評で、販売開始からあっという間に売れてしまうような状況でした。しかし、肉製品になるまでは生徒にとっては大変な思いをしながらの実習でした。生徒たちはと殺することはできれば避けて通りたいのですが、私たちの命をつなぐために、生きているものの命を奪って食べるということは避けられないことが分かっていますので、泣きながらも実習を行っていました。「ごめんね」「ありがとう」といいながら実習していた生徒もいました。明日の勤労感謝の日は、五穀豊穰（豊作であること）、そして命の糧を授けていただいたことに対する感謝の心をあらわすための祭りであり、勤労を尊び生産を祝い、国民が互いに感謝する日とされています。今日ある自分が自分一人の力ではなく、多くの人に支えられていることに感謝し、明日本校に来ただけの方や、本校を応援してくださっている皆さんにスペシャルな贈り物が届くように願っています。それは、生徒の笑顔であったり、一生懸命な姿であったり、感謝する心であったり、生徒が作った野菜や花、農産加工品であったり……。ありがとうの数だけ感謝の思いがあります。明日がそんな一日になるといいと思います。

いい天気になりますよーに！

